



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 ステラケミファ株式会社
 コード番号 4109 URL <http://www.stella-chemifa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 深田 純子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 中島 康彦
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-4707-1512

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	28,734	14.8	2,887	26.3	3,196	50.8	1,980	37.4
30年3月期第3四半期	25,034	14.4	2,286	33.9	2,119	37.5	1,441	38.8

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 1,759百万円 (27.0%) 30年3月期第3四半期 1,385百万円 (21.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	153.34	
30年3月期第3四半期	114.32	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	53,532	33,713	60.8	2,520.14
30年3月期	51,373	32,485	60.8	2,418.72

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 32,542百万円 30年3月期 31,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		20.00		21.00	41.00
31年3月期		20.00			
31年3月期(予想)				25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,700	15.1	3,450	45.6	3,750	113.5	2,400	88.3	185.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	13,213,248 株	30年3月期	13,213,248 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	300,207 株	30年3月期	300,185 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	12,913,061 株	30年3月期3Q	12,608,801 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信「添付資料」2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、相次ぐ自然災害の国内経済への影響等による一時的な落ち込みから持ち直し、企業収益の持続的改善による雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調にあります。海外経済については、米中貿易摩擦や欧米の政治的混乱などの影響が懸念されており、依然として不透明な状況が続いています。

このような環境のもと、当社グループは国内外の情報通信産業を中心に、顧客のニーズに基づいた多種多様なフッ化物製品の供給を行うとともに、特殊貨物輸送で培った独自のノウハウに基づいた化学品の物流を担う事業展開を行ってきました。

当第3四半期連結累計期間の業績におきまして、活況な半導体市場を背景に半導体液晶部門の出荷量が増加し、また無水フッ酸価格の急騰を受けた販売価格への転嫁を進めた結果、半導体液晶部門、表面処理部門等の販売が増加したことにより、売上高は287億34百万円（前年同期比14.8%増）となりました。

利益面におきましては、前期より急騰している主要原材料の無水フッ酸について、当期に入り一旦下落に転じた後、再度上昇いたしました。無水フッ酸価格の急騰を受けた販売価格への転嫁を着実に進めた結果、営業利益は28億87百万円（同26.3%増）となりました。また営業利益の増加に加え、原材料購入における為替リスクのヘッジを目的として取り組んでいるデリバティブ取引について、前連結会計年度末と比較して円安が進行し、為替差益および前年同期を上回るデリバティブ評価益を計上したため、経常利益は31億96百万円（同50.8%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億80百万円（同37.4%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月11日公表の平成31年3月期の通期業績予想を修正しています。

詳細は、平成31年2月8日付「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,192	13,718
受取手形及び売掛金	9,753	9,824
商品及び製品	3,104	2,674
仕掛品	1,618	1,383
原材料及び貯蔵品	1,655	1,882
その他	800	679
貸倒引当金	△22	△22
流動資産合計	26,101	30,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,025	7,065
機械装置及び運搬具（純額）	6,758	6,219
土地	5,467	5,467
建設仮勘定	882	825
その他（純額）	1,519	1,879
有形固定資産合計	21,654	21,458
無形固定資産		
その他	144	359
無形固定資産合計	144	359
投資その他の資産		
その他	3,504	1,590
貸倒引当金	△30	△17
投資その他の資産合計	3,473	1,572
固定資産合計	25,272	23,390
資産合計	51,373	53,532

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,557	2,291
短期借入金	1,860	1,975
1年内返済予定の長期借入金	2,794	2,493
未払法人税等	490	801
賞与引当金	353	169
その他	2,561	2,683
流動負債合計	10,617	10,414
固定負債		
長期借入金	6,203	7,340
役員退職慰労引当金	582	544
退職給付に係る負債	809	843
資産除去債務	505	509
その他	171	167
固定負債合計	8,271	9,404
負債合計	18,888	19,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,829	4,829
資本剰余金	7,152	7,152
利益剰余金	19,281	20,728
自己株式	△495	△495
株主資本合計	30,768	32,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	36
繰延ヘッジ損益	—	△6
為替換算調整勘定	431	298
その他の包括利益累計額合計	464	328
新株予約権	—	2
非支配株主持分	1,252	1,168
純資産合計	32,485	33,713
負債純資産合計	51,373	53,532

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	25,034	28,734
売上原価	19,698	22,647
売上総利益	5,336	6,087
販売費及び一般管理費	3,050	3,200
営業利益	2,286	2,887
営業外収益		
デリバティブ評価益	159	310
為替差益	—	118
その他	77	166
営業外収益合計	236	594
営業外費用		
支払利息	32	26
為替差損	166	—
減価償却費	83	—
持分法による投資損失	67	234
その他	53	24
営業外費用合計	403	285
経常利益	2,119	3,196
特別利益		
固定資産売却益	18	13
その他	—	0
特別利益合計	18	14
特別損失		
固定資産廃棄損	203	93
固定資産売却損	0	—
特別損失合計	203	93
税金等調整前四半期純利益	1,935	3,117
法人税等	624	1,201
四半期純利益	1,311	1,915
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△129	△64
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,441	1,980

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	1,311	1,915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	2
繰延ヘッジ損益	19	△6
為替換算調整勘定	64	△114
持分法適用会社に対する持分相当額	△20	△36
その他の包括利益合計	74	△155
四半期包括利益	1,385	1,759
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,512	1,843
非支配株主に係る四半期包括利益	△126	△83

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高純度薬品	運輸	メディカル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,693	3,194	—	24,888	146	25,034
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	2,496	—	2,498	140	2,638
計	21,695	5,691	—	27,386	286	27,673
セグメント利益又は損失(△)	2,347	604	△704	2,247	26	2,274

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,247
「その他」の区分の利益	26
セグメント間取引消去	12
四半期連結損益計算書の営業利益	2,286

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高純度薬品	運輸	メディカル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,261	3,325	—	28,587	147	28,734
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,678	—	2,678	144	2,823
計	25,261	6,004	—	31,265	291	31,557
セグメント利益又は損失(△)	3,008	598	△766	2,840	29	2,870

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,840
「その他」の区分の利益	29
セグメント間取引消去	16
四半期連結損益計算書の営業利益	2,887

3. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報
該当事項はありません。